

核酸医薬品の創薬基盤技術を有するルクサナバイオテック社への出資について

住商ファーマインターナショナル株式会社(本社:東京都千代田区一ツ橋、代表取締役社長:中村 健一、以下「SPI」)は、核酸医薬品の創薬基盤技術を有し、安全性と有効性の高い新規核酸医薬品を開発するルクサナバイオテック株式会社(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:佐藤 秀昭、以下「ルクサナバイオテック」)に出資致しました。

ルクサナバイオテックは、大阪大学で蓄積された核酸化学技術を基盤として、安全性と有効性の高い新規核酸医薬品を開発し、有効な薬剤のない病気と闘う患者さんとそれを支える方々に届けることを目指しています。今般、ルクサナバイオテックは、シリーズAラウンドで総額6.5億円の第三者割当増資(以下「本資金調達」)を行うこととなり、既存投資家である大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社(本社:大阪府吹田市、代表取締役:神保 敏明)に加え、新たに日産化学株式会社(本社:東京都中央区日本橋、取締役社長:木下 小次郎)、みずほキャピタル株式会社(本社:東京都千代田区内幸町、代表取締役社長:大町 祐輔)、池田泉州キャピタル株式会社(本社:大阪市北区茶屋町、代表取締役:平松 勝己)とともに、SPIが出資致しました。本資金調達により、ルクサナバイオテックは、製薬会社やアカデミアとの創薬共同開発の加速と、ルクサナバイオテックの核酸医薬創薬基盤技術の強化を推進していきます。

SPIは、住友商事株式会社の100%子会社で、住友商事グループの中核事業会社として、グローバルベースのネットワークを駆使し、創薬に関する研究機器や世界最大の研究用遺伝子・細胞バンクである米国ATCC等の生物資源の提供、国内外ベンチャー、製薬企業などの有望な医薬品(候補化合物)・基盤技術等のライセンス・共同研究の斡旋・仲介サービスの提供に始まり、医薬品原料・中間体・副資材の供給まで、医薬・医療・創薬分野において一貫した質の高い商品・サービスを提供しています。核酸医薬品の分野では、ドイツの核酸原薬製造受託会社であるBioSpring GmbHの対日代理店を2010年から務めており、当該分野における実績をあげるとともに、種々の経験・ノウハウを蓄積してきました。SPIは、これまでもルクサナバイオテックと事業連携関係を構築して参りましたが、今回の出資により、当該関係をさらに強め、SPIの上記ネットワーク、経験等を最大限に活用して、更なる核酸医薬分野の事業の加速を目指して参ります。

【ルクサナバイオテック株式会社 概要】

本社・研究所: 大阪府吹田市山田丘2番8号
代表者: 佐藤 秀昭
設立日: 2017年12月
ウェブサイト: <https://luxnabiotech.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

住商ファーマインターナショナル株式会社
Mail: alliance@summitpharma.co.jp
Tel:03-5220-1560